

議会だより

平成30年
5月1日
発行

第34号



↑八重黒龍藤



↑東堤防から見た藤棚



↑舟遊び



↑天翔の藤

※議会だよりは、3月・6月・9月・12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開催される臨時会の内容を中心に編集しており、2月・5月・8月・11月に発行します。

目次

- 議決結果 2
- 議案に対する賛否一覧 3
- 議会レポート／議案に対する討論 3
- 一般質問 5
- 委員会レポート 13
- 議会報告会のお知らせ 16
- 平成30年第1回臨時会および第2回定例会の予定 16



▲花桃

平成30年第1回津島市議会定例会 議決結果

議案番号	件名	議決結果
1	平成29年度津島市民病院事業会計補正予算(第2号)について	全員で可決
2	平成30年度津島市一般会計予算について	多数で可決
3	平成30年度津島市国民健康保険特別会計予算について	多数で可決
4	平成30年度津島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	全員で可決
5	平成30年度津島市コミュニティ・プラント事業特別会計予算について	全員で可決
6	平成30年度津島市介護保険特別会計予算について	多数で可決
7	平成30年度津島市後期高齢者医療特別会計予算について	多数で可決
8	平成30年度津島市民病院事業会計予算について	多数で可決
9	平成30年度津島市下水道事業会計予算について	多数で可決
10	平成30年度津島市上水道事業会計予算について	全員で可決
11	市長等の退職手当の特例に関する条例の制定について	議決不要
12	津島市人権が尊重されるまちづくり条例の制定について	全員で可決
13	津島市国民健康保険事業基金条例の制定について	全員で可決
14	津島市空家等対策協議会設置条例の制定について	全員で可決
15	津島市いじめ問題対策委員会及び津島市いじめ問題調査委員会条例の制定について	撤回
16	津島市職員の給与に関する条例等の一部改正について	全員で修正案を除く原案を可決
	議案第16号津島市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案に対する修正案(総務委員会修正案)	全員で修正案可決
17	津島市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	全員で可決
18	津島市職員等の旅費に関する条例の一部改正について	全員で可決
19	津島市個人情報保護条例の一部改正について	全員で可決
20	津島市介護保険条例の一部改正について	多数で可決
21	津島市放課後児童健全育成施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	全員で可決
22	津島市国民健康保険税賦課徴収条例の一部改正について	多数で可決
23	津島市国民健康保険条例の一部改正について	全員で可決
24	津島市中心身障害者医療費支給条例等の一部改正について	全員で可決
25	津島市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	全員で可決
26	津島市小集落地区改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	全員で可決
27	津島市市営住宅の設置及び管理条例の一部改正について	全員で可決
28	津島市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正について	全員で可決
29	津島市都市公園条例の一部改正について	全員で可決
30	津島市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	全員で可決
31	津島市手数料条例の一部改正について	全員で可決
32	平成29年度津島市一般会計補正予算(第5号)について	全員で可決
33	平成29年度津島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	全員で可決
34	平成29年度津島市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	全員で可決
35	平成29年度津島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	全員で可決
36	津島市いじめ問題対策委員会及び津島市いじめ問題調査委員会条例の制定について	全員で可決
37	津島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議提1	市長等の退職手当の特例に関する条例の制定について	多数で可決
議提2	津島市職員の給与に関する条例及び津島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	撤回
議提3	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書	全員で可決
請願1	国民健康保険税の引き上げをやめ、市民負担軽減を求める請願	少数で不採択
請願2	国民健康保険の国庫負担を抜本的に引き上げを求める意見書採択の請願	少数で不採択
請願3	国民健康保険への事業費補助金復活を求める意見書採択の請願	少数で不採択

◎開かれた議会を目指す取り組みとして、議員がどの議案に賛成したか、反対したかを一覧表にして掲載しています。

平成30年第1回定例会【議案に対する賛否一覧】 賛成:○ 反対:×

議案番号	新市民クラブ					改革クラブ					青風会			共産党議員団		公明党つしま		無党派	無党派	無党派	無党派
	日比野都郎	西山良夫	長尾日出男	加藤哲司	服部哲也	加藤則之	後藤敏夫	沖廣	垣見啓之	大鹿一八	上野聡久	山田真功	伊藤恵子	太田幸江	本田雅英	森口達也	垣見信夫	議長 宇藤久子	小山高史	安井貴仁	
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提1	×	×	×	×	×	○	退席	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×
請願2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	
請願3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	

※議長は採決に加わっておりません。 ※全員が賛成した議案は、記載を省略しております。

議会レポート

REPORT

青風会 上野聡久
市長等の退職金が計上されていることと、参与の予算が計上されていること。交通安全や防犯協会等への補助金が減

《反対討論》

議案第2号 一般会計予算

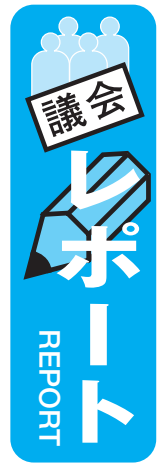
議案に対する討論

請願3件は不採択となりました。
議案に対する討論
さらに、議案第16号「津島市職員の給与に関する条例等の一部改正について」は、総務委員会修正案が提出され、修正案を可決しました。

そのうち、議案第11号「市長等の退職手当の特例に関する条例の制定について」は、議員提出議案第1号が対案として提出され、議員提出議案を可決しました。
今定例会では、市長から議案35件、人事案件1件が提出されました。

2月26日から3月28日まで開催し、7日から9日までの3日間、15人の議員による一般質問を行いました。

第1回定例会



日本共産党議員団 伊藤恵子
高い国民健康保険税がまたも値上げされる。一般会計からの法定外繰り入

《反対討論》

議案第3号 国民健康保険特別会計予算

4月の市長選挙を控えての骨格予算であり、子ども医療費無料化拡大の予算がない等の意見はあるが、市民生活に直結する予算を否定するまでの案件はないため賛成する。

小山高史

《賛成討論》
改革クラブ 加藤則之
にぎわい創出プロジェクトや滞在型観光、山車蔵修景補助金など、まちの活性化策、また企業誘致でインフラ整備補助金も生まれ、いずれも継続が必要。今後を見据えた事業。骨格予算ゆえ、肉付は、補正予算対応に期待し賛成。

額されていることなどを踏まえ反対する。
日本共産党議員団 太田幸江
自治体の財政を脅かすふるさと納税制度の見直しを国に要望すべき。子ども医療費の無料化の拡充の予算が組まれてない。観光や交流人口重視の施策であり、津島市民のくらし最優先の予算とはいえないので反対である。



入れが大幅に減額され、県下最低基準に逆戻りした。国が示すように保健事業等の予算は一般会計から繰り入れるなど、被保険者の負担軽減を図るべき。

**議案第6号
介護保険特別会計予算**

《反対討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

年々予算が膨らみ、特に65歳以上の方の負担が増大している。また要支援1・2の方を対象とした総合事業は、介護の重度化を防ぐものになっているのか疑問。予防事業等は一般施策で行うなど特別会計のスリム化を図るべき。

《賛成討論》

公明党つしま 本田雅英

事務上の算定誤りがあったが、現場の状況を考慮しない人事異動が原因だと指摘。所得段階を多段階化し適正な保険料を設定した点、地域で共同設置する在宅医療・介護連携支援センターの予算が計上されている点等から賛成。

**議案第7号
後期高齢者医療特別会計予算**

《反対討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

被扶養者で後期高齢者医療保険に移した人への軽減措置が、平成31年度から2年間のみ5割軽減され、その後

軽減をなくすためのシステム改修費が計上されている。制度発足時の9割軽減が改善されていくことに反対。

**議案第8号
市民病院事業会計予算**

《賛成討論》

公明党つしま 本田雅英

新年度予算は、医療現場で積み上げた実現可能な目標値、病床・診療科の再編を踏まえた費用削減の徹底など評価できる。病院経営の改善なくして市は成り立たないことを肝に銘じ覚悟をもつて取り組むことを期待し賛成。

**議案第9号
下水道事業会計予算**

《反対討論》

日本共産党議員団 太田幸江

国は10年間で汚水未処理地域をなくすこと、財政的な負担を軽減するため効率的な計画に見直すようにとの方針を出している。計画を早急に見直し、地域の特徴に合わせた下水処理計画を立てるべきと考え反対する。

《賛成討論》

改革クラブ 後藤敏夫

下水道事業は、単独公共と流域下水道が統合され進められている。平成30年度の整備計画は、立込3丁目、愛宕3丁目地内他13haである。国等の補助金・

財源の確保、接続率の向上に努め、事業の計画推進を望む。

**議案第14号
空家等対策協議会設置条例の制定**

《賛成討論》

改革クラブ 垣見啓之

この協議会を条例で設置することで、法に基づいた協議がなされ、それを受けた市長が勧告、命令することができるようになり、空家対策がこれまで以上に進むことが期待できるので賛成。

**議案第20号
介護保険条例の一部改正**

《反対討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

介護保険料が基準額で月3000円、年36000円値上げされ、高齢者の生活をなお圧迫する。保険料滞納者や年金から介護保険料が天引きされ生活困難となっている世帯を早急に把握し、境界層措置などで支援すべき。

**議案第21号
放課後児童健全育成施設の設置及び管理に関する条例の一部改正**

《賛成討論》

宇藤久子

共働き家庭において、放課後の子ども

もの安全・安心な居場所づくりである。新たに完成した「西こども家」は、子どもたちが、他人に対する思いやりの気持ちや、社会的マナーを大人から学び、健やかに成長されることを願い賛成。

**議案第22号
国民健康保険税賦課徴収条例の一部改正**

《反対討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

国民健康保険税は4世帯に1世帯が滞納世帯。横着ではなく、払いたくても払えないのが現状。試算でも払うと生活できない所得水準世帯があることが明らかになった。子どもの均等割軽減など早急に対応すべき。

**議員提出議案第1号
市長等の退職手当の特例に関する条例**

《反対討論》

青風会 上野聡久

教育の中立性はもちろん大切であるが、それゆえ市政運営とは別であるという理屈はおかしいのではないか。そもそも教育長はこの減額の提案に同意をしている。これがすべてである。

《賛成討論》

日本共産党議員団 伊藤恵子

政治家が文部科学省や学校現場に圧



力をかけるような事件が起きている。教育委員会の政治的中立性を保つためにも、財政難を理由にした市長、副市長、教育長の退職金減額について、教育長を除く対案に賛成。

小山高史

4月にある市長選挙へのパフォーマンスで日比市長・副市長・教育長の退職金をカットする予定だが、市長の選挙対策で教育長を巻き添えにさせないために教育長の退職金カットはさせない議案でありその趣旨に賛成する。

請願第1号

国民健康保険税の引き上げをやめ、市民負担軽減を求める請願

〈賛成討論〉

日本共産党議員団 太田幸江

国民健康保険税は、「高くて払いたくても払えない」のが現状である。18歳未満の子どもの均等割の減免と一般会計からの繰り入れなどで国民健康保険税の引き上げをやめ、市民負担の軽減を求めるこの請願に賛成する。

請願第2号

国民健康保険の国庫負担を抜本的に引き上げざることを求める意見書採択の請願

〈賛成討論〉

日本共産党議員団 太田幸江

高すぎる国民健康保険税の第1の原因は、国の予算の削減にある。国庫負担は1984年までは、約50%あったが、現在は、30%以下に減っている。国庫負担割合を引き上げ、増額することを求める請願に賛成である。

小山高史

市民が国民健康保険税の負担を感じているのは事実であり国に国庫負担をお願いする意見書を提出するのは当然だと考えるが、反対意見があれば堂々と議会で討論すべきであるし、紹介議員としても説明責任を果たしていくことも今後必要であると考え賛成する。

請願第3号

国民健康保険への事業費補助金復活を求める意見書採択の請願

〈賛成討論〉

日本共産党議員団 太田幸江

愛知県は2014年まで県独自の国民健康保険事業補助金を交付していた。全国トップクラスの財力の愛知県に対し、国民健康保険への事業費補助金の復活を求める意見書の提出を求める請願に賛成である。



改革クラブ
沖 廣

避難行動要支援者について

質問

避難行動要支援者支援制度とは。

市長公室長

平成25年6月の災害対策基本法の一部改正により、一人暮らし高齢者や重度の障がいのある方など、災害時に自ら避難することが困難な方を対象に、災害発生時の避難支援を目的とした、避難行動要支援者名簿の作成をすることとなった。その内、本人情報を地域へ提供することに同意される方に対し、地域が主体となって平常時の見守り、災害発生時には、安否確認や避難支援活動を行うものである。

質問

平成30年度の活動見込みはどのように考えているのか。

市長公室長

同意者名簿に掲載された方に対して、校区ごとに避難支援等関係者と、その地域の実情に応じた支援体制の構築に向けて打ち合せ会を実施する。

質問

制度の対象要件に該当しない方々については、どのように周知するのか。

市長公室長

市のホームページや広報紙、また民生児童委員をはじめ地域の実情に通じる団体等を介して制度の周知を図っていく。

地域コミュニティと福祉拠点について

質問

子どもから高齢者までの福祉拠点の市の考え方は。

健康福祉部長

対象者が自由に訪れ、交流を持つことができる場を提供することである。市は、高齢者を対象に体操やゲームなどで交流するふれあいサロン、就学前の親子が自由に訪れ交流する子育て支援センター、認知症の方を介護する家族の交流を促すための認知症介護家族交流会等がある。こうした取り組みで、地域の高齢者や子育て中の方、障がいのある方などが、生きがい活動や元気に暮らすきっかけを見出し、孤立を防止、地域の方向土のつながりを強化するため大変有益なものである。また、さまざまな形で対象者を募り、多様な取り組みを進めていく。



改革クラブ
垣見啓之

スポーツによる地域活性化の件

質問

私はいろいろなスポーツの場面で感動を覚えるが、市長はいかがか。

市長

スポーツは、苦しい中で目的を達成したという感動をその本人自身が感じることがもちろん、他から見ても感動を共有できるという意味で素晴らしいと考えている。

質問

スポーツにはどのような効果が期待できると思うか。

市長

スポーツは、体を動かし熱中し、「ミニユニケーション」もできるということなどで、達成感、爽快感、高揚感など、さまざまな感情を味わえるものである。また、健康づくり、目指すべき健康寿命の延伸そして心と体の健康を増進させるなど非常に大切なことである。さらに、団体や地域、「ミニコミュニティ」の中で連携もとれるので地域活性化にもつながっていくと考えている。

質問

総合プールの年間の利用者数、利用料収入、維持管理経費はどうか。

教育委員会事務局長

平成28年度実績で利用者数は3万3000人余、利用収入約800万円。維持管理経費は概ね5000万円である。

質問

総合プールの天井の一部が、剥離により天井落下の危険性があるということとで休止しているが、今後どうしていくのか。修繕して利用を続けるのか、廃止なのか。

教育委員会事務局長

天井の全面改修となると概算で1億円程度、また老朽化した設備の更新を考えるとそれ以上の経費がかかるため、今後の方向性については財政面や施設のあり方等も含め総合的に判断する。

質問

スポーツ施設整備には財源が一番の問題で、以前にも提案したスポーツ振興くじ助成金が3分の2の助成を得られるということと非常に有効であると思うが、見解は。

教育委員会事務局長

計画的な修繕や工事を行う際、助成の対象となれば積極的に活用していきたい。



公明党つしま
本田雅英

市民病院事業に関して
市民病院の現状と今後について

質問

新年度予算目標値達成のためにどのような取り組みをしていくのか。

市民病院事務局長

各診療科の院長面談を年度内に行う。また、目標達成状況に応じて院長ヒアリングや市長による声かけを行う。

質問

診療報酬改定にどのように対応していくのか。職員自ら調べ考えて対応することが必要と思われるかが。

市民病院事務局長

プロジェクトチームを立ち上げ、施設基準の新規取得を検討している。セミナー等にも参加し理解を深めている。

質問

診療報酬改定による影響は。

市民病院事務局長

全体的には、1億円以上の増収となる見込み。

質問

情報収集が甘く、対応も遅く、何より勉強不足。診療報酬担当部署がこの状態では、経営改善は程遠いのでは。

市長

しっかりと職務を果たしていくことが必要と思う。今後そのようなことがないよう、しっかりと指導していきたい。

質問

電子カルテシステムは、更新する以外方法はないのか。

市民病院事務局長

修繕が考えられるが、交換部品の在庫不足が危惧されるため、更新以外の方法は考えられない。

質問

電子カルテ更新費用を抑える工夫は。

市民病院事務局長

他病院の情報収集や複数社の価格比較による内容検証、機能の絞り込みなど費用を抑える方法を検討している。

質問

市の現状を踏まえ病院をどうしていくのか。

市長

存続が大前提。市と病院が一体となって地域医療を守っていく。



公明党つしま
森口達也

新年度市政運営に関する件

質問

一般会計歳入の見通しについてのどのようなところを見込み、分析をして編成したのか、具体的な説明を。

総務部長

主なものとして、市税については、景気の緩やかな回復基調の影響は見込まれるものの、生産年齢人口の減少、また固定資産の評価替えの影響などから、平成29年度と比較して約1億2000万円減の約83億4000万円を計上している。

また、地方交付税については、国の地方財政計画の内容や、錯誤額の繰延措置を踏まえて、平成29年度と比較して3億円増の21億5000万円を計上している。

質問

政府は平成30年度税制改正で新たに設備投資に係る固定資産税を3年間ゼロにできる制度を創設するようである。また、固定資産税特例率ゼロという思い切った判断をする自治体に所在する中小企業には、政府も補助金の優先採

択を行い、市町村と連携するようである。市内の経済、雇用を支える中小企業に対する支援策として、また、今後企業誘致を展開していく上にも有効的な方策と考えるがいかがか。

建設産業部長

政府は生産性向上のため、中小企業の設備投資の促進を目的に、平成30年度の税制改正の大綱において、30年度から3年間、固定資産税の特例を創設することを予定。現時点では中小企業対策としては有効であると考える。

今後、市町村が策定する導入促進基本計画や市税条例の改正などについて国から示されることになる。

当市としても、適切に対応して進めてまいりたい。

質問

何をもちて重点政策とするのか。

市長

市民病院、安定的な経営をすることは大前提である。その上に立って企業誘致も一生懸命やっていく必要がある。人口減少を少しでも減らすためには交流人口をふやして、まちづくりに対しても力を入れていく。

その他の質問

・日比市政4年間にに関する件



新市民クラブ
西山良夫

行財政運営の効率化に関する件

質問

成長戦略の具現化に向けて、財源の確保が必要である。財政状況と行財政改革の取り組みは。

また、財政健全化の観点から、将来に向けて、財政調整基金や市債に関しての見解を問う。

総務部長

市の財政状況は、扶助費や他会計への繰出金の増加も見込まれ、市民病院への財政支援も必要であり、極めて厳しい。さらなる財源確保や歳出の抑制を進めていくことが不可欠である。行財政改革推進計画に基づき、企業誘致の推進、市有財産の有効活用、ふるさと納税の推進等に取り組んでいる。

財政調整基金は一般会計予算の2割程度を確保することが望ましい。市債は現在健全な状況にあるが、将来の財政運営や資金繰りを考慮し活用を図っていく必要がある。

質問

新しい時代に的確に対応できる行政組織を構築していく上で、市長のリー

ダーシップが問われるがいかがか。

市長

職員の能力向上は不可欠。市民の目線に立ち、顔の見える関係を築き、地域課題の解決に向けて、市民と一体的に行動できる人材を育成し、まちづくりをとにも進めていきたい。

質問

持続可能な市の将来に向けて、どのような財源確保対策を打ち出して、まちづくりを進めていくのか。市長選に向けての決意表明を聞く。

市長

市の将来に向けて、財政基盤強化を図っていく。財源確保の対策として税収を増やすこと。企業誘致をさらに進め、行財政改革の一層の推進、人口減少対策のための取り組みを重点的に行う。そのためには、市民の命を守るとりである市民病院の経営の安定化を図る。

また、子育てや教育環境の整った生活環境を整備することにより、定住・移住促進に取り組むことも重要。本市のまちづくりの魅力創出再発見、情報発信を通じて、にぎわいを創出していく事業を進め、交流人口をさらに増やしていく。

津島で生まれ育つ子どもたちが、津島で夢をかなえられるまちづくりをしていく。





QUESTION



宇藤 久子

都市計画道路名古屋津島線に関して

質問

当市の都市計画道路の路線数は。

建設産業部長

都市間の移動を目的とする幹線街路は13路線。また、昭和南本町線など市街地形成機能を目的とする補助幹線街路7路線、合計20路線になる。

質問

重要な位置づけとしている都市計画道路はどの路線なのか。



▲20路線

建設産業部長

1つ目は、名古屋第3環状線(国道155号)で、西尾張地域の物流円滑化に繋がる重要な路線。2つ目は、西尾張中央道で、当地域と一宮方面までを4車線で結ぶ主要幹線道路。3つ目は、基目寺佐織線で、当地域から名古屋市境にある庄内川までを結ぶ主要幹線道路。4つ目は、弥富蟹江名古屋線で、東名阪自動車道の北側を並走する位置にある。5つ目は、市の中心部の東西軸となる名古屋津島線で、名古屋市と本市を結ぶ主要幹線道路である。

質問

名古屋津島線について、市内における事業着手はいつで、何年の完了予定か。現在事業中の用地買収の進捗率は。

建設産業部長

今市場町地内で昭和39年から県により用地買収が行われており、完了予定時期は、県でも確認できない。

現在事業中の用地買収の進捗率は、日光川から西側では、2つの工区で整備が行われている。天王川公園北側の祢宜町から本町にかけての区間520Mの用地買収の進捗率は、今年度、一部用地取得が行われ約8割となっている。古川町の郵便局付近から新開町1丁目地内の市道日光唐臼線までの800Mの用地買収の進捗率は、今年度3件の協力が得られて約9割となっている。

質問

日光川から東に向かって、あま市との境までどのような状況か。

建設産業部長

津島日光橋の東側の信号交差点までは、暫定2車線で整備されている。今年度より莪原町地内の市道下田神尾線前後において測量が行われ、来年度からは蟹江川の橋りょう工事に着手される予定である。

その他の質問

・教育行政に関する件



青風会 上野 聡久

市長等の退職金制度について

質問

条例通りなら、市長の任期は4年で退職金はいくらか。

市長公室長

退職手当は1812万円である。

質問

市長の年収はいくらか。

市長公室長

約1500万円である。

質問

議会初日の質疑で、「退職金制度を廃止したらどうか」との質問に、市長は「人材確保のために必要だ」と答弁された。この真意はどこにあるのか。

市長

職務内容や職責の重要性に鑑み、その職責を同じくする他の地方自治体とある程度の均等性を図る必要性があるところにある。

質問

退職金制度は、2期、3期やると2倍、3倍になる制度。これは、市民の理解を得られると思うか。

市長

一定の理解は得られると思う。

質問

私は、市民の一人として理解できない。この制度を廃止するという考えは市長にはないのか。

市長

廃止をするという考えは持ち合わせていない。

質問

結局、こうなると私も市議会議員として持てる権限を最大限行使し、対策を打たなければならぬ。

特別職の退職金制度を廃止するという条例を議会が出した場合、越権行為であると市長自身は考えるか。

市長

市は行政や議会の二元代表制のもと、市民の皆さまの声を反映する場であるので越権行為だとは考えない。

その他の質問

・津島市の人事制度について
・津島市民病院について



改革クラブ
後藤敏夫

天王通り周辺のまちづくりについて

質問

まち並みの整備活性化の事業が実施されており、天王通りの活性化のためのもちづくりコンテストが実施された。どのようなものであったか。

建設産業部長

今年度、天王通りを津島駅から津島神社までの参道に見立て、再生プランを全国から募集した。将来像について語り合う対話型集会成为るタウンミーティングを行っている。37作品の応募があり上位3作品はホームページに掲載している。事業費は支援費として478万円余で地方創生推進交付金を活用している。

質問

タウンミーティングを行っているが、地域住民へのPRや周知方法についてはどのようなにされているか。

建設産業部長

今年度は3回予定した。1月に文化会館、2月に観光交流センターで開催し、3月に同場所で予定している。

地域住民への周知については、タウンミーティングでいただいたご意見などを「かわら版」という形でホームページや町内回覧、沿線の各戸へポストイングを行い働きかける。

質問

本町筋の町並みと建物の修景事業などの現状や実績および予定・方針についてはいかがか。

建設産業部長

本町筋や橋詰商店街の道路から見える建物前面を町家風に改修する場合、最大100万円、門や塀など工作物は最大50万円を補助する。市内業者施工は10万円上乘せ、実績は1件、来年度は2件予定している。

質問

天王通りに関する都市計画の見直し・整備はどのように進められるか。

建設産業部長

県では、都市計画道路の見直し方針を来年度には公表する。県と連携・協議をするが、今回の再生プランで出された提案やご意見を参考に整備方針を固めた上で、来年度より都市計画道路の見直し作業を進めて行きたい。

その他の質問

・津島市民病院に関する件



日本共産党議員団
伊藤恵子

高齢者の生活実態を把握し、支援を

質問

65歳以上の介護保険料が、4月から基準額で月額300円引き上がる。年金から天引きされた人が非常に困っている状況は、どう把握されているのか。

健康福祉部長

民生委員や包括支援センターの相談員、ケアマネジャーからの連絡、個別の電話や窓口での相談、問い合わせの際に把握している。生活状況にお困りの場合、生活保護等の生活相談をするように案内している。

質問

境界層措置とは、介護サービス利用の際、生活保護水準以下となった場合に、生活保護の適応対象でなくなるまで利用料を減額するもの。

周知はどのように行っているのか。

健康福祉部長

利用者に直接かかわるケアマネジャー等にもこの制度をより周知し、ホームページ等についても検討していく。



質問

国では、市営住宅の連帯保証人を免除してもよいという通達が出ているが、市としてはどう考えているのか。

建設産業部長

連帯保証人を免除する条件について今後慎重に検討していく。

質問

「コミュニティセンターの利用料について、高齢者の居場所づくりとして援助する方法はないのか。

健康福祉部長

趣味やお茶会などを通じて気軽に集まることができるような場を提供している団体に対し、引き続き介護予防・日常生活支援総合事業の中で支援していく。

質問

運転免許証自主返納者に対して何か支援することは考えているのか。

市民生活部長

運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書を提示していただいた70歳以上の高齢者に、6月から「ふれあいバス」無料乗車券10回分を配布する。

その他の質問

・国保税の引き下げを



日本共産党議員団
太田幸江

児童保育に関する件

質問

西こどもの家が4月1日から西小学校内に新設されたクラブ室に移るが、進捗状況はどうか。

健康福祉部長

平成29年7月22日に工事を着手し、遊具の移設・撤去等を夏休み期間に行った。その後、地盤改良を行い、11月には本体の建設工事に着手し、工事は順調に進行した。平成30年4月1日から新しい施設で児童保育を実施する。

質問

北こどもの家の建設工事の予定は、どのようになっているのか。

健康福祉部長

北小学校旧プール解体およびこどもの家建設工事実施設計業務委託は、平成30年1月に指名競争入札を行い、契約した。現在、父母会の代表の方と話し合いながら実施設計を進めている。

夏休み期間に旧プールを解体し、本体工事は、10月から3月初旬の工期を見込んでいます。平成31年4月1日から

新しい施設で児童保育を実施できるように進めている。

質問

指定管理者の変更により、どのようなことが変わり、今後はどうなっていくのか。

健康福祉部長

平成30年度から、児童保育の指定管理者は各児童保育の父母会からNPO法人となる。今まで運営において取り扱いが異なっていた部分の統一が図られ、NPO法人が経理等を行うので父母の負担は軽減されると考えている。

質問

児童保育の保育料が高くて預けられないという相談があった。所得に応じた保育料の減免制度を市が補助をして行うことはどうか。

健康福祉部長

これまでも兄弟入所や就学援助を受けている方への保育料の軽減を行っている。

その他の質問

- ・子ども医療費無料化の拡充について
- ・放課後子ども教室について
- ・海部地区環境事務組合について
- ・ごみ処理基本計画について



青風会
大鹿一八

公共交通と市民の移送について

質問

ダイヤ改正のたびに電車やバスの便数が減らされる。名鉄電車や名鉄バスのダイヤ改正についてどんな交渉をしているのか。

市長公室長

津島駅と名古屋駅間の直行便の増便、平日朝の特急の運行、利用者の多い時間帯の4両から6両編成への増車など。名鉄バスに対しては、ダイヤ改正を行う場合に、事前に連絡すること、利用状況について情報共有していくことを確認した。

質問

年度末の2月になぜ地域公共交通会議を開く必要があったのか。名鉄側から何を言われたのか。

市長公室長

津島と名古屋名鉄バスターミナルをつなぐ路線が、平日20分に1本の運行間隔を30分間隔にすると聞いた。

質問

津島駅と青塚駅を除く津島線各駅の

乗降客数が増えているのは駅前整備によるものと考えます。両駅の整備の現状と今後の展望について説明して欲しい。

建設産業部長

津島駅については、天王通りのあり方を地元や関係者とタウンミーティングを行い、整備方針を検討している。

青塚駅は、現在県が道路拡幅事業を進めており、30年度は拡幅完了地点から天王橋(牧野町)までの用地買収を行うと聞いている。

質問

巡回バスの検討について、平成30年度の予定について説明願いたい。

市長公室長

5月に地域公共交通会議を開催し、7月から8月にかけてアンケート調査を実施したい。その後12月に地域公共交通会議を開催し、ルート見直しに係る議論、検討を行うこととしている。

質問

運転免許証自主返納者への対応は。

市民生活部長

70歳以上の返納者へ津島市ふれあいバス無料乗車券10回分を配布する。

その他の質問

- ・市民後見人制度の必要性について



新市民クラブ
長尾日出男

津島市のまちづくりについて

質問

市の厳しい財政状況下で今後どのようにまちづくりを進めていくのか。

市長

社会資本総合整備計画で津島市まちなか歴史・文化地区177haに市外から人を呼び込み、楽しく過ごしていただくため、案内板110か所程度の整備事業、道路美装化・小路整備事業、そして、ポケットパーク第2弾も今整備中である。町並みの整備、町家・山車蔵等修景・復元費助成事業等、まちの再生および活性化を図っている。

質問

当局はいろいろな取り組みをされているが地域に金銭を消費する飲食店や土産物店がなく、通過するだけでは経済効果に結びついていかないと述べてきた。曰比市長の見解は。

市長

国の地方創生事業を活用し、滞在時間を延ばし、地域を活性化させる町家泊り、滞在型観光地域再生プロジェクト

などの事業を開始し、宿泊施設にさらに体験プログラムをかけ合わせて、着地型観光を展開している。まちづくりでは、地域の人々による取り組みが大切である。おもてなしステーションでは、観光客に休憩所、情報を提供する。一部ではトイレの提供もしている。

質問

市長が市政を預かる前までは津島駅から津島神社までの再生に何度もチャレンジされてきたが、残念ながら頓挫するばかりであった。多くの事業はメディアに取り上げられ、津島市を訪れる人が増えたが、受入態勢が整わずリピーターが少ないように感じる。そのためインフラ整備を積極的に短期間に行う必要があると思うが市長の見解は。

市長

歴史・文化ゾーンにおいてはまちに活力、にぎわいを創出する団体が生まれつつある。新たな取り組みとして全国からアイデアをいただき天王通りの将来像について再生につながる具体的な解決方法などを考えるタウンミーティングを始めている。

今後は歴史的風致維持向上計画を作成し、もう一段前に進めていく考えである。地域に合った地域の特性あるまちづくりを市内全域に広げていきたい。市外の方に津島を訪れ、魅力を感じていただいで定住人口の増加につなげていきたい。



青風会
山田真功

津島市の財政状況について

質問

一般会計を含めた全会計での市債残高は平成29年度末でいくらになるか。前年度と比較してどうか。

総務部長

平成29年度末の市債残高見込みは約364億円で、28年度末の残高が357億円で、前年度と比較して7億円増加している。

質問

平成29年度末の財政調整基金はいくらになるか。前年度と比較してどうか。30年度末の残高見込みはいくらか。

総務部長

平成29年度末の財政調整基金残高見込みは、前年度の約16億円より約6億7000万円減の約9億3000万円。30年度末残高見込みは約3億5000万円である。

質問

海部地域や近隣の類似団体の財政調整基金残高の状況は。

総務部長

愛西市が約76億7000万円、あま市が約41億7000万円、弥富市が約17億8000万円。近隣類似団体では大山市が約15億7000万円、江南市が約27億4000万円、清須市が約20億9000万円、北名古屋市が約21億2000万円となっている。

質問

新たな財源確保、収入に結びつく具体的な取り組みは。

総務部長

企業誘致の推進で約400万円、市有財産の有効活用で約2億円、ふるさと納税の推進で約1700万円を見込んでいる。

質問

ふるさとつしま応援寄附金で約1700万円を見込んでいるとのことだがこの寄附金に係る返礼品事業の経費はいくらか。

市長公室長

経費は約800万円。主なものは、ふるさとつしま応援寄附金の返礼品事業に伴う関連業務委託料、納税に伴う関連情報管理システムの業務委託料、クレジット手数料および寄附申し込みフォームの使用料である。



小山高史

市長選挙へのパフォーマンスでは

質問

市長は、退職金を3割・副市長は2割・教育長は1割を削減する提案であるが、4月には市長選挙が行われる。市長の退職金の3割カットは選挙戦を見越したパフォーマンスだと思いがいかか。

市長

もちろんパフォーマンスではない。財政が厳しい中で特別職3人がそろって退職金の減額をする。その意思を示すことが今後の負託に応える意味で決断をさせていただいた。

質問

実利を得るパフォーマンスである。我々議員は議員定数を20名から18名に削減して年間で1800万円の経費削減を行った。三役合わせての退職金カットは年間ベースに換算するとわずか200万円だが、二元代表制のバランスは考慮されたのか。

市長

それは考えていない。私がこの内容でやりたいと決断をした。

質問

やはり市長選挙のパフォーマンスだと言われても仕方がない。また教育長の退職金1割カットは、財政上の理由であり、教育長の責任はないが、教育長にけじめを求めたのはなぜか。

市長

行政を運営している特別職の一人として、教育長に厳しい状況であるから削減の協力をお願いしたいと話をして同意を頂いた。教育長の決断は重いと考えている。



市長選挙の争点の一つ

質問

子ども医療費の無料化拡大は、市長選挙の大きな争点となると考える。日比市長は、子ども医療費の無料化拡大を中学校まで拡大する考えなのか。

市長

マラフェストに関することは答弁を控えるが、子ども医療費の拡大はそろそろ踏み切る時期であると実現に向かっていくような表現で一般質問に答弁している。



安井貴仁

日比市長の4年間について

質問

任期最後の定例会ということで、4年間で取り組んだ事業で一番のものは何か。

市長

一つに絞ることは難しいが、防災・減災について地域・家庭から発信することが重要であることから、地域ごとのハザードマップを作成した。また、平成29年度は神島田小学校に4400人が使用する3日分の飲料水を確保できるかさ上げした耐震性貯水槽の設置に着手した。今後は高台寺小学校、蛭間小学校の対策を進めていく。

質問

市長就任から市単独事業で8億1000万円余を事業投入してきたが、その中で事業予算300万円のかさ上げ・高床式住宅モデルプランというものがあつたがモデル住宅に選定された住宅は実際に建てられたのか。

市長公室長

モデル住宅を実際に建てた方はいない。

い。報道を見ての問い合わせがあった。

質問

特に建てる人もなく、事業を推進した市長として失敗だったか、成功だったか、所見を問う。

市長

一定の効果はあったと認識している。展示会に訪れた時に、これはどのような住宅か私が市長と知らずに尋ねられた。限られた情報で家を建てることは残念であるが、一定の評価をしている。

質問

市として、PRに取り組み姿勢は理解できるが、少し時代遅れの感覚は否めない。特に缶バッチは議場で市長しかつけていない。インナープロモーション研修も行っているのだから新しい時代感覚をつかんでほしい。

市長

有名な政治家にすごいねと言われた。わかる人にはわかる。

その他の質問

・市長の政治姿勢について

インナープロモーション研修とは？

入庁1〜10年目の職員が企画書作成やチラシ作成、マーケティングについて学ぶ研修。

議案第2号
一般会計予算

Q 障がい者の就労サービスについて説明願いたい。

A 一般企業等で就労が困難な人に働く場を提供したり、知識や能力の向上に必要な訓練を行うもので、雇用契約を結ぶA型、雇用契約を結ばないB型がある。

Q 自立支援給付事業が1億円以上増額となった理由は。

A 障がい福祉サービスを受けるためには、プランを立てる相談支援専門員をつけることが必須となり、使いやすい環境が整ってきたため。

Q 軽度・中等度難聴児補聴器給付費14万円余計上されているが、何人分を見込んでいるか。

A 4人分である。

Q 子育て応援券事業について、チャイルドシートの利用状況は。

A 平成29年度は、172枚使用され、8万円余補助をした。

Q 子どもの居場所づくり事業委託料として409万円余計上されているが、募集人員および受け入れ人数は。

A 中央児童館募集人員60名に対して60名、西小学校30名に対して19名、蛭間小学校30名に対して27名、合計120名に対して106名の応募があった。



Q がん検診等委託料について、前年度と比較し500万円ほど増額している理由は。

A 平成30年度から津島市医師会と海部医師会との協議により、胃内視鏡検診を導入することの合意を得たため。

Q 子ども医療扶助費について、前年度と比較し1400万円減額となっている理由について説明願いたい。

A 対象者が昨年度に比較し、県制度分の未就学児が25人の減、市制度分の小学校1年生から3年生が86人の減となったため。

議案第3号
国民健康保険特別会計予算

Q 口座振替勧奨通知封入業務委託料8万円余計上されている。口座振替の

推進には、再任用職員による電話や嘱託徴収員の方にお願うする方法もあるがいかがか。

A ご指摘を踏まえ、検証をしっかりと実施する。

Q 1世帯当たりおよび1人当たりの保険料はどの程度増額になるのか。

A 平成29年度と比較して、1人当たり3052円増の11万2263円、1世帯当たり1021円増の18万1257円である。

議案第6号
介護保険特別会計予算

Q 特別徴収、普通徴収および滞納者の人数について、説明願いたい。

A 平成30年2月末で、特別徴収が1万5941人、普通徴収が2575人、滞納者は851人である。

議案第8号
市民病院事業会計予算

Q 医業収益で5億6800万円減、病院事業費用で7億円減との説明であるが、その理由について説明願いたい。

A 病棟再編で138床減ったことが一番大きな理由であるが、診療科の再

編、経費の見直しもある。

Q 予算編成については、昨年度と同様に各診療科の積み上げ方式とのことであるが、予算編成時と平成30年4月1日時点での医師数について乖離はないのか。

A 腎臓内科1人、外科1人、脳神経外科1人の合計3名減、神経内科1人増である。



Q 医師数の乖離による影響額について説明願いたい。

A 腎臓内科で1億1300万円の減、脳神経外科で1億2000万円の減、外科で1億1500万円の減で、神経内科は2億1000万円増の見込みである。

議案第20号
介護保険条例の一部改正

Q 階層を14段階から17段階に変更した理由を説明願いたい。

A 中間所得層で階層ごとの差が大きい部分があったため、7段階、8段階、10段階で、より所得に応じた形の階層を作成した。

申請3件および陳情1件は不採択



議案第2号
一般会計予算

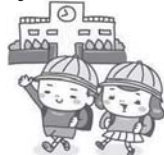
Q 学校支援地域本部事業補助金として、前年度予算と同額の110万円余計上されている。この補助金はどのように使われるのか。

A 神守中学校と天王中学校以外の10校において、地域コーディネーターが活動する際の謝金や通信運搬費である。

Q 要・準要保護就学援助費の内訳は。

A 要保護の対象者は、小学生4人、中学生1人を見込んでいる。準要保護の対象者は、小学生371人、中学生214人を見込んでいる。

要保護・準要保護の支給額は小学生が2191万円余で、中学生が2105万円を計上している。



Q 給食費を現金で徴収している学校は。

A 天王中学校、西小学校、南小学校である。高台寺小学校は、平成30年1月から口座振替に変更した。

Q 教育委員会から口座振替の提案を

していただきたいが、いかがか。

A 先生方の負担軽減になるよう、学校とも話し合っていく。

Q 体育協会の補助金の内訳は。

A 体育協会運営費として、人件費、旅費、需用費、役務費が641万円余、体育協会の事業普及費98万円余、事業補助金127万円余、県体育協会の負担金18万円余、西尾張体育協会負担金4000円、スポーツレクリエーション派遣費14万円という内訳である。

Q 空き家・空き店舗活用費補助金100万円の補助内容や対象はどのようになっているか。

A 地域の交流施設等に利用する場合は80万円、飲食店は120万円であるが、100万円を計上している。不足部分は流用を考えている。

Q 町内要望の道路修繕に係る予算はどのように振り分けられているのか。

A 平成29年度の累積で、合計2000件の要望があり、概算事業費としては、約15億6000万円である。

内訳は道路維持10億900万円、下水路整備1億3000万円、交通安全対策3億3000万円である。過年度の積み残しから順番に進めている。

Q 企業誘致補助金として2000万円計上されている。白浜地区のインフラ整備ということだが、全額を補助するのか。

A インフラ整備をした企業に対して、基本的には、半額を交付するものである。開発面積ごとに上限額が定められている。

Q 企業誘致の補助には、インフラ整備以外にもあるのか。

A 企業立地促進補助金がある。家屋、償却資産に課せられる固定資産税を、課税の初年度から起算して3年間、50%を交付し、本社移転の場合は初年度100%交付というものである。

議案第27号
市営住宅の設置及び管理条例の一部改正

Q この改正は、公営住宅法の改正に伴い、認知症患者等の収入申告義務を緩和するものとの説明であるが、ひとり世帯になり、保証人がなくてもそのまま賃借契約を継続できるのか。

A 国から、特段の配慮を求めるという通知も来ているので、慎重に配慮する方向で検討していく。

議案第2号
一般会計予算

Q 時間外勤務について職員配置の仕方、その適正化に向けた取り組みの進捗状況は。

A 時間外勤務については、年度当初に目標値を定め、毎月各課が集計を出し、全庁的に情報共有をしている。時間外が多い課の所属長には人事秘書課から話をしている。また、時間外は所属長の命令により必要な場合に行うもので、その認識の徹底と、木曜日ノー残業デーという呼びかけをすることも課内での業務の平準化をお願いしている。

Q 防災費、高台寺小学校の耐震性貯水槽の工事請負費8700万円余計上されているが、予算計上にあたりどの程度慎重に精査したのか。増額補正はあり得ない予算計上なのか。

A 昨年度の神島田小学校における耐震性貯水槽工事では設計変更で予算が増額された経緯があるが、今回の高台寺小学校での工事は設計業務が既完了しているので増額は無い。

Q 市税が83億円余で昨年に比べ1億1700万円余の減となっているが原因は。

A 人口流出による個人市民税の減、ふるさと納税による税額控除が相当影響している。また、固定資産税は今年が評価替え基準年で、見直しによる減収が考えられる。

議案第11号および議員提出議案第1号 市長等の退職手当の特例に関する条例の制定

〈議案内容〉

市長提案である議案第11号は退職手当を市長30%、副市長20%、教育長10%カットするという内容。それに対し、議員提出議案第1号はその内容から教育長の10%を除くもの。

Q 議案第11号において、教育長を含めた理由は何か。

A 教育長も特別職であり行政運営の一環を担っているためである。

Q 議員提出議案第1号は教育長を除く内容であるが、その理由は何か。

A 教育行政はあくまで独立した機関であり、市長の任命権限が増大するという危機感が感じられる。

Q 政治的中立と報酬の部分は拡大解釈を過ぎだと思っただけか。

A 教育長の減額そのものを否定しているわけではなく、教育長の任期はまだ新しい市長のもとで一年半ある。退職時に教育長自身が考えることである。

議案第16号 職員の給与に関する条例等の一部改正

Q 議員の期末手当の引き上げはどのような経緯で提案したのか。

A 特別職の期末手当は人事院勧告における指定職の基準を準用し自治体独自に判断し決定する。今回もその改正に沿っての適用を考えたが、報酬等審議会の意見も踏まえ、市長、副市長、教育長においては今回引き上げをせず据え置くという判断したこと、議員のみ引き上げの提案とした。

〈議案第16号に対する修正案〉

議案第16号のうち、議員の期末手当に関する部分を削除する内容のもの。

Q 修正案を提出した理由は何か。

A 本市の厳しい財政状況を踏まえ、議員の期末手当の支給割合を据え置く必要があるためである。

市民病院調査特別委員会レポート

平成30年3月28日の本会議において、市民病院調査特別委員長が調査の経過報告を行いましたので、その要旨を掲載します。

市民病院調査特別委員会は市民病院の経営について調査、研究するため設置されており29年度は、6回開催した。

また、7月19日の特別委員会では、県から江口市町村課長、伊藤課長補佐を講師として招き、『公立病院の経営改革と津島市民病院について』のテーマでの講演を行った。

この講演での指摘を受け市民病院運営に対する課題、問題点である経営改革、収益力アップ、資金不足解消につながる取り組みに対して精力的に議論した。

患者数の減少対策や収益力アップを図るため、営業力強化の重要性を提案して、市民病院の効果的PR、営業機動力の向上につなげ、併せて資金不足解消の方策についても調査してきた。

当委員会としては、「医療職を中心とするプロジェクトチームによる検討」や「市側から病院への市民病院営業活動の提案」など、院内の連携や市と病院との連携は格段に進み、これまでで最も前向きな活動がなされたものと、当局の取り組み、改善を評価するが、それで

もまだまだ十分ではないと感じている。そこで、次のようなことに注意を払い取り組んでいただきたい。

1. 全ての職員が地域医療の要として市民病院の重要性を再確認すること。
2. 持続可能な経営・運営をするため単年度経常収支の黒字化を早期達成すること。

3. 資金不足の解消および一時借入金解消は計画を厳守すること。
4. 市長・院長のリーダーシップの徹底ならびに医師間の意思疎通を一層図ること。

5. 適正な地域医療を進める上にも、健全経営を目指す上にも病院の規模の見直し、さらなる病床再編、診療科再編が必須となること。

今年度は現状を踏まえた「経営面」について調査してきた。平成30年度は診療報酬改定が行われる。

また、地域包括ケアシステムの構築に向けて役割を果たすことも求められる。こういった今後予測されることも踏まえ病院経営改革をする必要がある。

今後、市民病院調査特別委員会は、地域の実情を認識して、社会情勢の変化を見通し、市民病院の健全化に向けて引き続き調査、研究をしていく。



議会報告会のお知らせ

開催日時	対象校区	会場	担当班
7月14日(土) 午前10時～12時	東小	東コミュニティセンター	1班
7月14日(土) 午後1時半～3時半	神守小	神守コミュニティセンター (旧神守公民館)	2班
	南小	南文化センター	3班
7月15日(日) 午前10時～12時	蛭間小	蛭間コミュニティセンター	3班
	神島田小	神島田公民館	4班
7月15日(日) 午後1時半～3時半	高台寺小	高台寺コミュニティセンター	1班
	西小	大崎会館	2班
	北小	文化会館 視聴覚室1・2	4班

1班

日比野 郁郎	後藤 敏夫	長尾 日出男	上野 聡久	太田 幸江
--------	-------	--------	-------	-------

2班

伊西 恵子	藤山 良哲	加藤 哲高	小沖 子夫	史廣
-------	-------	-------	-------	----

3班

垣宇 信久	見藤 久達	森口 真哲	山田 功也	服部 哲也
-------	-------	-------	-------	-------

4班

大本 一雅	加藤 則貴	安垣 藤井	垣見 啓	八英之仁
-------	-------	-------	------	------

〈平成30年第1回臨時会および第2回定例会の予定〉

《第1回臨時会》	6月15日(金) 厚生病院委員会
★5月10日(木)開会 ★5月11日(金)閉会	6月18日(月) 文教建設委員会
《第2回定例会》	6月19日(火) 総務委員会
★6月4日(月) 開会	6月20日(水) 委員会予備日
★6月11日(月) 一般質問	6月21日(木) 委員会予備日
★6月12日(火) 一般質問	★6月28日(木) 閉会
★6月13日(水) 一般質問	

★印は、クローバーTVの生中継および夜7時からの再放送を予定しています。

●会議は午前9時から開催します。

●日程は、変更になる場合があります。

●詳しくは議会事務局へお問い合わせください。(TEL55-9858)

次号は、8月に発行予定

責任において発行しています。

- ◎ 委員長
◎ 副委員長
- ◎ 宇藤 久子
○ 服部 哲也
◎ 日比野 郁郎
◎ 後藤 敏夫
◎ 上野 聡久
◎ 森口 達也
◎ 太田 幸江



議会だより編集委員会

今後とも、市民の皆様には
深いご理解とご支援をお願い
申し上げます。

平成30年3月定例会では
日比市政の一期4年間の歩
みについての質問が多くあり
ました。現状の津島市の財政
状況を鑑み、津島市の将来像
をどのように考えているか。
特に津島市民病院をどの
ように再構築していくかの
質問がありました。私ども議
会も行政のチェック機能とし
て苦言・助言・指摘を行いな
がら津島市の発展に取り組
んで行きたいと考えておりま
す。

編集後記